

## 1. 基盤的保険者機能関係

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
1. サービス水準の向上	【KPI】サービススタンダードの達成状況：100% 【KPI】現金給付等の申請に係る郵送化率：92.0%以上	100% (99.5%) 91.2% (94.8%)	○ ×	業務G
	① 日次、月次での進捗管理徹底 ② 令和元年度の「お客様満足度調査」結果から課題抽出、電話対応研修を実施。（ボイスレコーダーによる対応チェック、日次ミーティングでの対応フレーズ復唱と電話対応時の注意喚起） 令和2年度架電調査結果（熊本支部）：10ポイント改善		○	
2. 業務改革の推進に向けた取組	① 効率化、事務処理誤り発生防止を目的としたマニュアル、手順書に基づいた処理の徹底 ② 生産性の向上を目的とした職員の能力、業務量把握。グループ全体の優先度に応じ日次での業務指示、進捗管理の実施		○	業務G
3. 現金給付の適正化の推進	① 傷病手当金と障害年金等※との併給調整を手順書等に従い確実に実施 ② 協会で設定している重点審査項目についての審査強化及び事業主への立入検査実施 ※障害年金、退職後の老齢年金、労災休業補償給付 令和2年度立入検査：2件		○	業務G
4. 効果的なレセプト点検の推進	【KPI】社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率：対前年度（0.368%）以上	0.359 (0.318%)	×	レセプトG
	① システムを活用した効率な点検の実施 ② レセプト点検員のスキルアップを目的とした研修会の実施 ③ 支払基金との定例協議会における連携強化		○	
5. 柔道整復師施術療養費の照会業務の強化	【KPI】柔道整復師施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ15日以上以上の施術の申請の割合：対前年度（0.94%）以下	0.92% (1.12%)	○	業務G
	① 多部位（3部位）且つ頻回（月10日以上）施術の加入者に対し文書照会を実施 ② 多部位の割合が高い施術所へ注意喚起文書送付、文書送付後の請求傾向を追跡		○	
6. あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進	① 医師の再同意（同意書）の審査確認徹底 ② 不正疑い案件（九州厚生局情報提供案件）：なし		○	業務G

# 1. 令和2年度熊本支部事業実施結果

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
7. 返納金債権の発生防止のための保険証の回収強化、債権管理回収業務の推進	（保険証回収強化） 【KPI】日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率：96.0%以上 （債権管理） 【KPI】資格喪失後受診に係る返納金債権の回収率：対前年度（75.0%）以上 【KPI】医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合：対前年度（0.045%）以下	95.10%（92.41%）  50.39%（53.40%） 0.053%（0.087%）	×	レセプトG
	① 保険証の早期回収のため、文書、電話による催告の実施 ② 債権回収フローに沿った文書、電話による催告の実施 ③ 保険者間調整の活用及び法的手続き等の実施		○	
8. 限度額適用認定証の利用促進	【KPI】高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合：86.0%以上	79.6%（79.6%）	×	業務G
	① 申請書設置、手続き案内等協力機関への継続設置フォロー ② 入院レセプト枚数が多い医療機関へ申請書設置及び患者への手続き案内について協力依頼（文書、訪問）		○	
9. 被扶養者資格の再確認の徹底	【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率：92.0%	91.9%（91.3%）	×	業務G
	① 未提出事業所へ対して文書、電話勧奨を実施 ● 確認対象者数 全国：約690万人 熊本：約10万人 ● 削除人数 全国：約6.8万人 熊本：0.14万人 前期高齢者納付金負担軽減額：全国 約1億円		○	
10. オンライン資格確認の円滑な実施	【KPI】現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率：68.0%	57.0%（53.7%）	×	企画総務G
	① 平成28年度から開始したUSBを使った協会独自のオンライン資格確認業務。熊本では46医療機関で実施 ※ マイナンバーカードによるオンライン資格確認の開始に伴い、2月19日をもって事業終了		○	

# 1. 令和2年度熊本支部事業実施結果

## 2. 戦略的保険者機能関係

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成  
赤文字は特徴的な箇所

項目		実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
2. データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施	I. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	【KPI】生活習慣病予防健診受診率を60.7%以上とする	58.6% (51.0%)	×	保健G
		① 協会けんぽ主催集団健診 ② 健診機関に対する受診者数目標達成インセンティブ ③ 健診機関による受診勧奨		○	
		【KPI】事業者健診データ取得率を8.0%以上とする	8.5% (8.0%)	○	
		・ 事業者健診結果の提供勧奨及び紙媒体のデータ化		○	
		【KPI】被扶養者の特定健診受診率を28.0%以上とする	21.6% (21.3%)	×	
	II. 特定保健指導の実施率の向上	【KPI】特定保健指導の実施率を30.8%以上とする	未確定 31.7% (未確定 15.4%)	○	
		<被保険者の特定保健指導> ① 委託機関に対する実施者数目標達成インセンティブ ② ICTを活用した遠隔面談 <被扶養者の特定保健指導> ① グループセミナー形式の初回面談 ② 協会主催集団健診当日の初回面談		○	
	III. 重症化予防対策の推進	【KPI】受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする	10.9% (10.2%)	×	
		① 健診後未治療者への受診勧奨 ② 糖尿病重症化予防		○	
	IV. コラボヘルスの推進	① 保険会社等と連携した健康宣言事業所の拡大 ② セミナーによる健康宣言事業所のフォローアップ ③ <b>くまもと健康企業会を発足し、健康経営に取り組む企業間の連携強化による健康経営の質の向上（定例会3回、臨時会4回）</b>		○	

# 1. 令和2年度熊本支部事業実施結果(KPI)

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成  
赤文字は特徴的な箇所

項目	実施状況	実績（全国平均）	達成状況	担当グループ
3. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	【KPI】広報活動における加入者理解率の平均：対前年度（46.3%）以上 【KPI】全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合：60.0%以上	44.9%（41.0%） 59.3%（45.3%）	× ×	企画総務 G
	① 広報誌の発行、メールマガジンの発行、ホームページの更新 ② メディアを活用した広告 ③ 「上手な医療のかかり方」の普及のためのセミナー（新型コロナの状況を踏まえ中止） ④ 新規適用事業所への健康保険委員登録を勧奨 ⑤ 健康保険委員向け広報誌「スマイルけんぽ」を4回発行		×	
4. ジェネリック医薬品の更なる使用促進	【KPI】ジェネリック医薬品使用割合：81.6%以上（R2.9月まで）	81.2%（79.2%）	×	企画総務 G
	① 使用割合が低い地域に居住する加入者へのDM ② 医療機関、薬局へ、県平均と比較した個別の情報が記載されたお知らせを送付		○	
5. インセンティブ制度の着実な実施	① 健康保険委員への制度周知（研修会が新型コロナウイルスの影響により中止したため参加予定者に資料送付し、希望者を対象にオンラインで説明会開催） ② 保険料率変更の周知に併せてインセンティブの結果、制度を広報		○	企画総務 G
6. パイロット事業の実施	① 令和3年度パイロット事業に支部内で3件提案。支部内で内容協議し、うち1件を本部に応募するも、落選（マイドクターカード”を活用した”かかりつけ医”の啓発）		×	企画総務 G
7. 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	【KPI】他の被用者保険との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率：100% 【KPI】「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する	100%（87.6%）  実施なし （30支部で実施）	○  ×	企画総務 G
	① 地域医療構想調整会議について、県内10医療圏全てに被用者保険参画。協会けんぽは5医療圏（熊本・上益城、天草、芦北、有明、八代）で参画 ② 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上期の地域医療構想調整会議は中止。下期の書面開催においてデータを活用した意見発信には至っていない		×	

# 1. 令和2年度熊本支部事業実施結果(KPI)

## 3. 組織・運営体制関係

<達成状況> ◎：目標を大きく上回る、○：目標達成、×未達成

項目	実施状況	実績	達成状況	担当グループ
1. 評議会の開催及び適切な運営	年4回開催（中止2回 5月・3月）		○	企画総務 G
2. 人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置 3. 人事評価制度の適切な運営 4. OJTを中心とした人材育成 5. 支部業績評価の実施	① 上期・下期における期首の目標設定面談と期末の評価面談の適切な実施 ② 4月新卒者OJT研修 2名 ③ 1月中途採用者OJT研修 1名 ④ 支部業績評価の評価項目や評価方法を意識した取り組み		○	企画総務 G
6. 費用対効果を踏まえたコスト削減等	【KPI】一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、対前年度（47.1%）以下とする	15.4%（15.5%）	○	企画総務 G
	① 一者応札削減に向けた取り組み 令和2年度実施開札18件中、2件一者応札（一者応札率11.1%）		○	
7. コンプライアンス・個人情報保護等の徹底 8. リスク管理の強化 9. 事務処理誤りの発生防止	① 個人情報保護研修・コンプライアンス研修 ② リスク管理委員会 （新型コロナ発生時の対応について） （台風10号接近の対応について） （新型コロナ感染疑い） ③ 事務処理誤り発生防止研修 ④ 支部独自の事務処理誤りゼロ月間の設定		○	企画総務 G